



成隣だより

令和4年2月28日
第11号
昭島市立成隣小学校
校長 星野 典靖

1年間を振り返り、次年度に向けて…。

校長 星野 典靖

早いもので、令和3年度もあと1か月となりました。3月は学年の締めくくりをすると同時に、4月からの新年度に向けての準備を始める時期でもあります。成隣小学校でも、今年度をしっかりと振り返り、次年度の教育活動の充実に向けて改善・修正を図っています。

令和3年度も、これまでに経験したことのない未曾有のコロナウィルスの感染拡大、変異株の出現等の影響で、人々の生活や経済活動も大きな変化が余儀なくされました。学校の教育活動も同様で、感染拡大防止のため様々な制約が生じている中で教育活動を行ってきました。令和元年12月に中国での感染拡大が報じられ2年が経ち、ようやく国内では3回目のワクチン接種が進められています。しかし、一向に終息が見えない状況です。

そのような新しい日常の中で、今年度も保護者・地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、子供たちの安全を守り、子供たちの学びを切り拓く活動を行うことができましたことを大変嬉しく思っています。

本校の教育目標は「すすんで学ぶ子、心豊かな子、たくましい子」です。その具現化のために、令和3年度も様々な制約のある中で教育活動を行ってきました。

まず「すすんで学ぶ子」ですが、習熟度別指導、個に応じた指導、タブレット等のICT機器の活用等を進めるとともに、授業のユニバーサルデザインを意識し、全ての子供が「分かる」「できる」「楽しい」と実感できる授業を目指してまいりました。また、保護者の皆様のご協力のおかげで家庭学習の習慣も定着してきています。次年度もさらに内容の充実に努めていきたいと考えています。

次に「心豊かな子」ですが、特別の教科道徳の時間を要とした道徳教育を全教育活動において取り組んできました。これからも継続して、自己肯定感や人権感覚の醸成、思いやりや規範意識等の道徳性の育成を基盤とした心の教育を進めてまいります。また、成隣小学校の子供たちは、新しい生活様式に対応した、目礼、会釈等の挨拶がしっかりとできています。来校されたお客様からもお褒めの言葉をよくいただきます。「あいさつ」は相手を大切に思いやりの心のあらわれです。コロナ禍の中では大きな声で「あいさつ」を響き合わせることは難しいですが、心と心の交流ができるよう工夫していきたいと考えています。

最後に「たくましい子」ですが、本校から発信した本校のレガシーである元気アップガイドブックを活用し、体力の向上を目指して「元気アップ」の活動を、基本的な生活習慣の定着を図ることを目指して「グッドモーニング60分」の取組を展開してきました。この成隣小学校のレガシーをさらに発展させ、子供たちの笑顔・夢・体力を少しでも増やすとともに、コロナ禍の中でもみんながつながっている喜びを味わわせていきたいと考えています。

この1年間、保護者の皆様、地域の皆様から成隣小学校の教育活動に対して様々なご支援・ご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。そして、令和4年度も、本校の教育目標「すすんで学ぶ子、心豊かな子、たくましい子」の具現化を目指すとともに、児童一人一人が意欲的に学び、成長のよろこびを味わえるような教育活動を進めて参ります。(令和5年度に予定されている創立150周年式典に向けての準備も開始いたします。)

これからも、コロナウィルスの脅威に負けず子供たちの心と体の健康を守るとともに教育活動を推進し、子供、保護者・地域の皆様、教職員にとって「魅力ある学校」を創造してまいります。

今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。